

しのばず自然観察会より 2025-6 2025.07.02

2025年7月の活動 不忍池 定点観察 7月13日(日)



集合:午前10時 不忍池 蓮池南西端
(野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り) 緑の小旗あり
今回は雨天中止
持物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具
(マスク、敷物、昼食、日傘)
解散は午後1時頃ボート池畔の予定
参加費不要 非会員の参加も歓迎

8月の活動は、8月10日(日)、不忍池定点観察会の予定です

2025年5月の活動 不忍池 定点観察 5月18日(日)より

前日は雨、天気予報もくるくると変わる日曜日、雨上がりの曇り空、予想最高気温が29℃とのことでしたが、日差しが弱いのが救いでした。この日は9名が参加しました。

ハスの浮葉が水面をほぼ覆い、前日の雨水を水玉にして宿していました。渡りのカモ類やカモメ類が去った池でこの日は、2017年5月21日以来となる、オオヨシキリの声を弁天堂前のアン群落で聞けて感激でした。姿が見られなかったのは残念でしたが、また、昨年4月に見た、クロイトトンボがいました。

なお、蓮池畔にある下町風俗資料館は改築が終わり3月にオープンしましたが、名称を「したまちミュージアム」に改称しました。1980年の開設前、関係者は「下町博物館」という名前で呼んでいましたが、オープン時に「下町風俗資料館」となっていました。「しのばず自然観察会」では当時、「下町博物館」の名称と学芸員を置くこと、それに上野公園に関するコーナーの設置を台東区に要望しましたが、聞き入れられませんでした(後に、学芸員は置くようになりました)。ここへ来て、「下町博物館」の名称が復活したようにも見えますが、「下町」を「したまち」、「博物館」を「ミュージアム」と、今風のはやり言葉に置き換えたのは、上野公園を集客数でしか

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円

※2024年以前の会費未納の方も忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ※

評価しない政治の世界への忖度のようにも見え、素直には喜べない複雑な気持ちです。(小川潔)

確認した野鳥:ドバト、キジバト、スズメ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ムクドリ、ハシブトガラス、アオサギ、コサギ、カイツブリ、ウミネコ、カルガモ、オオヨシキリ、カワセミ、カワウ、ツバメ

昆虫:クロイトトンボ、シオカラトンボ、アカタテハ。アオスジアゲハ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ

その他の動物:スッポン、コイ

おもな開花・結実植物:アメリカフウロ、イタチハギ、イヌガラシ、ウラジロチチコグサ、オオイヌノフグリ、カジイチゴ、カタバミ、カタバミ(オキザリス)の園芸種、キショウブ、キツネノボタン、キュウリグサ、薄いピンクの花のキョウチクトウ、キンシバイ、コマツヨイグサ、シロツメクサ、スズメノエンドウ、タチアオイ、雑種タンポポ、トキワハゼ、ドクダミ、ニワゼキショウ、ノゲシ、ハコネウツギの園芸種、ハルジオン、ヒルガオ、ヘビイチゴ、ヘラオオバコ、マメゲンバイナズナ、ムギクサ、ムラサキカタバミ、ムラサキサギゴケ、ヤセウツボ、ユウゲショウ

2025年6月の活動 不忍池定点観察 6月1日より

前日までの雨があがって、朝から日差しがいっぱいの日曜日、7名が参加しました。池畔の園地は、部分的に草刈りが行われて花が少ない印象、蓮池と動物園池の水面はハスの抽水葉が伸びてほぼ覆われ、サギ類がうまく見られませんでした。

あいかわらず、園路周辺は外来植物のオンパレードでした。

確認した野鳥:ウミネコ、カルガモ、カワウ、シジュウカラ、スズメ、ツバメ、ドバト、ハシブトガラス、ムクドリ

昆虫:アオスジアゲハ、アカボシゴマダラ、アゲハ、クロイトトンボ、コシアキトンボ、コフキトンボ、ベニシジミ、ホウジャク(蛾)の仲間、モンシロチョウ、ヤマトシジミ

その他の動物:アカミミガメ、グッピー? コイ、スッポン、

おもな開花・結実植物:アベリア、アジサイ、イモカタバミ、ウラジロチチコグサ、オオイヌノフグリ、カジイチゴ、カタバミ、カモガヤ? ギシギシの仲間2種、キショウブ、薄いピンクの花のキョウチクトウ、キンシバイ、コマツヨイグサ、雑種タンポポ、サンゴジュ、シロツメクサ、スズメのヒエ? タチアオイ、チガヤ、ドクダミ、ナズナ、ニワゼキショウ、ネズミモチ、ノゲシ、ハルジオン、ヒメジョオン、ヘビイチゴ、ヘラオオバコ、ホソムギ? マメゲンバイナズナ、ムギクサ、ムラサキカタバミ、ユウゲショウ、ワルナスビ



クロイトトンボ

5月の観察会から 小川千恵子

2025.05.18 曇 無風

9:35

ボート池浮き橋にドバト5羽が脚をたたんで、ペツタリ床にはりつくようにしている。

バギーを押した母親の前を、歩き始めて間もない男の子が走って浮き橋の床に来る。ドバトに近づき、追い立てるように走りまわる。ドバトは全員手すりへ。

ボート池北側のベンチには餌やり男性がいる。ドバトが寄っている。ボート池北西の水を見ると、コイが無数にすごい大きな口をめいっぱい開けて寄ってくる。私は思わず後ずさり。

浮き橋南の水面を鮮やかな白が目立つコシアキトンボが南へ飛ぶ。浮かんだ筏の上の茶色の枯れたアシのなかに緑の新しいアシが伸びてきている。その中にキシノウズが3輪咲く。

ハルジオン、黄花のカタバミ、ピンクのユウゲショウ。青色のオオイヌノフグリ。ぺんぺん草(ナズナ)。

白い蝶が飛ぶ。ヘラオオバコは高さ20~25cm位。

桜に5mm足らずのサクランボが多数見える。食べられる？赤いツヤツヤがきれい。その南にあるヘラオオバコは高さ40cm以上に伸びていて、花は花穂のまん中あたりが咲いている。下には一面オオイヌノフグリが咲く。白い花のドクダミ。タンポポ1輪咲く。咲き終わってつぼんでいるのが1輪。

トリモニュメントを過ぎて

薄紫色のニワゼキショウ。黄色の花は？？。タンポポ、ユウゲショウ。

タチアオイの大きなかたまり。北東と東、南の方のものが咲き始めている。赤や薄ピンクの花。浮き筏2つ全部にビッシリとキシノウズが咲く。

ヤブガラシの蔓が伸びている。ハルジオン。タチアオイ、15本以上赤い花のついた茎が伸びる。ピンクの花のカタバミ。黄色の花のカタバミ。タンポポは真ん丸な綿毛。

ツキミノウかな？少し赤みがかった黄色で、咲き終わったようなつぼんだ形。ドクダミ。わからん葉っぱ群。細長い葉で、先が茶色。切れてる？

蓮池の西南地にタンポポ、ハルジオン、ユウゲショウ。

集合地

ピンクのカタバミ、小さい花のピンクのタチアオイ。蓮池は、真ん中を残して、岸に近い所の古い枯蓮をぐるっと一周刈ったようで、水面が見え、蓮が伸びて葉を浮かせたり、少し立ち上がったり。池の北東側にはアシ原が見える。

白いタチアオイと薄いピンクの花の小さなタチアオイ。カンナは以前より少ないが、丈が50cm位に伸びている。菊の葉の方が多くなっている。中に濃いピンクのカタバミとタチアオイの茎や葉が見える。

通路の南側。ムギクサ、キシノウズ、葉が紫で花が薄いピンクのカタバミ。Iさんがキシノウズは、カキツバタと一緒に咲いているとカキツバタが負けてしまうので、石神井公園ではキシノウズを

抜いている、と教えてくれる。

野外音楽堂西

蓮池にイトトンボがいる、とIさん。つなぎトンボになってすぐに離れた、と。

ノゲシ、ナズナ、白い花のマメグンバイナズナ。一似たものが花屋で売られていると、潔。カジノキ。

野外音楽堂北

シマサルスベリの幹はまだツルツル。皮はいつできるのだろう？水面に浮く蓮の葉の上に水のかたまりがのっているが、真ん丸いガラス玉がのっているみたいに見える。イトトンボが蓮の葉にとまる。双眼鏡で見ると尾の先っぽが黒くてみずいろ、黒と続く。Kuさんが調べ、クロイトトンボと確認。

浮き橋。入口の地面にはスギナ群。流石にツクシは無い。シオカラトンボが、小さい蓮の葉が河側に広がるところにとまる。オオシオカラトンボは腹の部分に網目模様がある、と潔。アオスジアゲハ。モンシロチョウ。

浮き橋を出てすぐの地面の草の中に大きなスッポンが池方向をむいて、いる。Iさんが「濃い紫色のツククサを見ていたらSaさんがそばにいたスッポンを見ていた、私はスッポンには気づかなかった。」と。池の水面までは50cm以上ある。いったい、どこから、どうやって上がったのか？と皆で話していると、東の方からアオサギが飛んできて、浮き橋の北西に降りる。



陸にあがったスッポン
手前が陸地、画像上部の縁石
の先が池の水面

下町風俗資料館前

ピンクのサツキが咲き、下に白いドクダミ。池の水面をお腹がグレーばいイトトンボが飛ぶ。シオカラトンボも飛ぶ。

下町風俗資料館は開館していた。「したまちミュージアム」と看板が出ていた。

北上する。

コシアキトンボが飛ぶ。ドクダミの葉が地べたにくっつくように覆う。ピンク色が濃いソハレジオンが咲く。ユウゲショウ。

コサギが2羽、茶色の枯れた蓮の葉柄群の中にいるよ、と言われて見ると、きれいな冠毛もヒラリと見えた。私は、また白いレジ袋が落ちていていると思って、よく見ていなかった！Iさんが「石神井公園では、コサギ、アオサギが巣を造ってヒナが育っている」と。

ピンクのヒルガオ2輪咲く。アメリカフウロの実か？

ヤセウツボがあった、とHさん、Mさん、Saさん。少し戻って見に行く。柳の木の根元に6本、30cm位離れて1本。イネ科に寄生する。

オオヨシキリの声がアシ群の中から高らかに何度もきこえる。姿は見つけれない。アシ群は枯れた茶色の茎が伸び、刈れた穂が付いている。そして下には新しい緑の葉が伸びてきている。アシ群は南の方が背が低く、北の方は背が高い。そのアシ群の手前にカワウが1羽立っている。お尻を少し持ち上げて白いオシッコをシャッ！とするのが見えた。

弁天堂参道入口手前で、東の方の樹々の中からツープーツーピーとシジウカラの声がする。モンシロチョウ3頭がからみ合いながら飛ぶ。

タイリウザクラの北にドクダミ群在り。その中にヒルガオ1輪。濃いピンク花のカタバミと黄色花のカタバミ、ハルジオンが多数咲く。ヤマトシジミ蝶が1頭。潔がカメラを構えて、「カタバミの葉に産卵している」と。羽を震わせて羽を広げるのが見える。

弁天堂参道橋の上から水面を見おろすと動物園池側に、低い堤がある。そこにイタチハギ。アカタテハが蜜を吸う。黄色い蝶が飛ぶ。キシノウエが咲く。橋を渡って南にハコネウツギの園芸種が咲く。葉に白い斑が入る。

藤棚。東に白い真ん丸の花のシロツメクサの一群。東南角のジュズダマの1株は少し葉が伸びてきている。カジイチゴの木に花は無し。アシが地面上にもぽつぽつと伸びてきている。

ユッカは6本の花茎に花がいっぱいに咲いていて、下にも落ちている。ピンクのアメリカフウロ。

ピーツと鳥の鳴き声が何度もきこえる。何か？Iさんがどうしてもオオヨシキリを見たいとアシ原の方を見ていて「あそこに鳥がとまった」と。双眼鏡で見ると、サツと飛んで、正面の蓮枯葉柄のテッペンにとまる。カワセミ！久し振り。上をウミネコが飛ぶ。

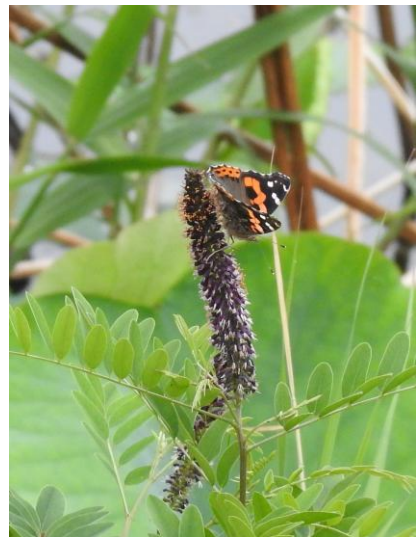
柿の花は終わって茶色のヘタのような物が見える。カヤの木の向こうの水辺につき出してはえているカジイチゴには、オレンジ色の実が付く。おいしそう。あとで調べると「甘く、食べられる」と出ていた。

弁天堂出口へ。北側のカワウの島からはカワウの幼鳥の声がにぎやかにきこえる。こんもりとしたキンバイの植え込みに、1輪の黄色い花が見える。時の鐘が鳴り出す。

橋の上から水面を見ると蓮池から動物園池へ水が流れている。



ヤセウツボ



イタチハギで吸蜜中のアカタテハ

ボート乗り場から南下

東側の草地にニワゼキショウとハルジオン。西側は地べたに這うようにヘビイチゴの赤い実が見える。ヘラオオバコ。

ボート池にカルガモ3羽。蓮池側、枯蓮葉柄群の中からカイツブリの長いひと声がきこえる。姿は見えない。

ボート池側の桜の木の下に4羽のカルガモ。3羽が少し小さくて色が濃くて鮮やかでスベスベした感じ。少し北に離れて1羽。3羽が仔で1羽は母親かなと話す。4羽中2羽、3羽と眠りにつく。

柳の上をシジュウカラが飛んで南へ。

ボート池側の地面にムラサキサギゴケ。コケと名が付くがコケではない。「ニュージーランド原産で、本州、四国、九州に分布。花が紫で形が鸚が飛んでいる様子に見立てて、苔のように広がっていることから名づけられた」と。たまに白色の花もあるらしい。

蓮池側地面にカルガモ2羽。結局、今日カルガモは全部で何羽？8羽？9羽？

ボート池南端を西にまがって北上する。地面にドバト数羽がいて中に1羽キジバトがいる。

ヤセウツボ多数。

テラスで。池側、草の中からムクドリ1羽が出て来て西へ飛ぶ。水面をツバメが飛ぶ。

6月の観察会から 小川千恵子

2025.06.01 曇り

9:36

不忍池のボート池の水は多い。

ひっくり返したボートの上にカルガモ1、カメ1。

浮き橋の北側に青や紫のアジサイ、東の方にはピンクのアジサイが咲き始めている。ユウゲショウ、ドクダミ、ハルジオン、ヘラオオバコ。少し戻って、オオイヌノフグリ。ヤブガラシのつるが伸びる。

ハルジオンがまとまって咲いている。

サルのけんか声がひびく。白いツバの花3株。黄色い花のカタバミ、イヌタデ、スズメのヒエ、アキニレの北にはドクダミが地を這うように咲き乱れる。

タチアオイはどの株も満開、ヒルガオ、ピンクのカタバミ。白い蝶が飛ぶ。黄色い花のツキミノ1輪咲く。少し行くともう1輪。

ボート池南のひっくり返したボートの上はカメ1。ムクドリが手前の地面を歩く。茶色のヤセウツボ。

集合地

蓮は水面に浮いている葉や伸びて立ち上がった葉が一面に広がる。蓮池の真ん中にはまだ去年の蓮の茶色い棒状になった葉柄が、今年の緑の葉の中に混じって見える。目の前の草地は葉が刈られたよう。5cm位の丈で、短くなった葉。(あとで蓮池を一周したが、蓮池の周り全部が刈られた。昆虫が生きられない！先月、カタバミに産卵されたヤマトシジミは無事に育

ったのか?)

池側のカナナ群は真ん中を菊群が占有し、その外側をとり囲む形になった。下にピンクのカタバミ。

野外音楽堂の西

ピンクのキョウチクトウが咲き始めた。色が薄い気がする。シマサルスベリの幹はまだツルツル。枝先に去年の茶色い実がぶら下がる。

浮き橋手前

コシアキトンボが飛ぶ。イトトンボ！尾の先端を双眼鏡で見る。水色2つのクロイトトンボ。クロイトトンボを見ていると、水中を大きなスッポンが東へ泳ぐ。先月の個体と同じ？(SaM さんが調べて、スッポンが陸地に上がるのは産卵の時だけ、と。先月のスッポン、フリフリとお尻を振ったのを思い出した。)本当に卵を産んだのかなあ？

スズメが1羽、目の下の草をついばみ、何となく私たちについて来る感じ。餌ねだりか？

クロイトトンボが尾をそらせて上へ何度もパタパタ動かす。  次は尾を 

の形にする・なんのサインだろう？皆は先に行ってしまった、見ていたのはIさんと私だけ。

浮き橋

ハスは水面から50~60cm位に立ち上がっている。

KOさんからの話「ハスは早く日光を浴びたい、初めは元々の蓮根のエネルギーで伸びてきて、水面に出たところで葉を広げるが、葉は小さい。次に出てくるのは少しでも高くなった方が光合成に有利なので、葉柄を伸ばして立ち上がる」と。

ハスの葉が茶色っぽいのが多数あるのに気づく。葉脈は緑ではっきり見える。ここ3日程寒かったので寒暖のせい？とKOさんにきく。KOさんは「こんなのは初めて見た」と。潔「潮風の影響か？」と。

カルガモ2羽、そろって北へ飛ぶ。

浮き橋を出て、ドクダミ。ドクダミも外来種で八重の花や、葉に模様が付いているのもあるらしい。

下町風俗資料館前、ツバメが飛ぶ。

蓮池の周りの草が刈られてしまって5月に多数いたシジミ蝶もみられなかったが、ここでようやく1頭飛んでいるのを見た。草花は、先月はいろいろ見られたが、今月は無し。あっても丈が短かすぎて何の草かわからない。

コシアキトンボが水面に。この辺の蓮の葉は緑で、茶色く変色している葉は無い。KOさんが(さっきの茶色の葉のことを)「やはり潮風か？」と言う。

幹が割れて、中が外側と同じように固くなった柳の木を見て、KOさん、柳は成長が速いからくさり易い。中が空洞化し易い、と。コシアキトンボ3匹がグルグル回っていたと、Iさん。

弁天堂入口手前。蓮の背が低い。入口北の動物園池には鳥はいない。橋の北のイタチハギは実がなっている。橋の南西の電線にカラスが止まり、ゴロゴロと声を出している。何を言っているのか？

橋の上から目の前の蓮池を見ると、コシアキトンボがとまったと思うとすぐ飛び立つ。遠くにいるコシアキトンボが少し寄るとそちらへ向かい、離れるとまた戻ってくる。なわばり争いか？

藤棚

サンゴジュは白い花が咲く。ピンク色のアメリカフウロ、黄色い花のカタバミ、ワルナスビ、タンポポ。ユッカは7本の茶色の枯れ茎が立つ。

南を見ると背が低い蓮の中に、茶色の枯枝様の葉も見える。まだ蓮の背が低いので、ここからは東、南、西と見渡せ、池の南の通路を歩いている人々の足元まで見える。柿は1cm位の小さな実が育っている。

弁天堂を西に出る。蓮池のハスが少ない。浮き葉も立っている葉も少ない。Mさん、「葉も小さいわ」と。去年の蓮の刈り取りの時期の影響か？

シオカラトンボが飛ぶが、コシアキトンボに追い払われる。

キンシバイ、多数咲く。蕾も多数。

橋手前で西側にある落羽松の北、キョウチクトウの北あたりの動物園池の水面にコシアキトンボが多数飛ぶ。キョウチクトウの枝先が濃いピンク色に見える。その手前に白っぽい花が鈴なりに付いた木、皆が何？と。潔、ネズミモチ、と。

南下する。

蓮池側は下草が刈り取られたので、何も確かめられない。ボート池側は刈られていないので、ハルジオン、スギナ、穂になっているチガヤ、ピンクのカタバミ、ニワゼキショウ、ドクダミ、黄色いカタバミ。シジミチョウがとまる。「ベニシジミ」と潔。

ボート池側、タンポポ、ニワゼキショウ、ツキミソウ、ユウゲショウ。白い蝶が飛ぶ。「モンシロチョウ」と潔。ドバト 15 羽が誰かがまいた白い粒の餌を食べている。十分あるのに、食べようとする1羽の頭を別の1羽がつつく。いじめ？

SaM さんからニワゼキショウのショウはショウブのショウ、と。庭石菖アヤメ科ニワゼキショウ属、と出てくる。1890 年頃に北米から渡来。庭によく出てきて、セキショウ(サトイモ科ショウブ属)の葉に似ているのでニワゼキショウと言う。花はムラサキ色と白と出てくるが、写真を見るとピンクも黄色もある。オオニワゼキショウというのものもあるらしい。

カメがよく乗っている低いひっくり返したボートの上にカルガモ3羽と思ったら、大きいのが2羽、小さいのが4羽。不忍池のどこかで繁殖しているのか？時の鐘が鳴り出す。

ヤセウツボがある地面の北、池側にくちた切り株。たぶんソメイヨシノ。木の北側と手前の下草がつぶされていて、たぶん昨日か、今日に切ったと思われる。

テラスで。ボート池上空をウミネコ3羽が大きく回って水面に降りる。1羽加わって計4羽。ウミネコはミャ〜と鳴いて飛ぶ。